

第2期水俣市地域公共交通網形成計画素案についてのパブリック・コメント 実施結果及び市の考え方について

「第2期水俣市地域公共交通網形成計画素案」について、市民の皆さまからの御意見を募集しましたが、寄せられました御意見と、これらに対する市の考え方を下記のとおり掲載いたします。御意見をお寄せいただきありがとうございました。

記

1 募集期間

令和2年2月7日（金）～令和2年2月21日（金）

2 閲覧場所

市役所仮庁舎、市立図書館、市立総合医療センター、もやい館、保健センター、こどもセンター、おれんじ館、愛林館、水俣病資料館
水俣市ホームページ

3 御意見総数（意見提出者数）

提出	__1件
郵送	__0件
FAX	__0件
Eメール	__1件（__1人）
計	2件（2人）

4 御意見の取り扱い

意見を踏まえ、素案を修正・追加補足するもの 0件

今後の取り組みの参考とするもの 2件

1 パブリック・コメント意見に係る市の考え方

No	項目名とページ	意見	市の考え方
1	<p>【ページ】 54ページ</p> <p>【項目名】 第5章 持続可能な地域公共交通網のあり方</p>	<p>本計画の基本理念である「将来にわたって持続可能な公共交通体系の再構築」、また基本方針の「市民にとって利用しやすい運行サービスの効率化」に賛成の立場で意見を述べさせていただきます。</p> <p>計画策定の趣旨にもあるように、水俣市では今後も少子高齢化が進みますし、高齢化に伴う免許返納の増加で、地域公共交通の需要が高まると予想されます。今回の計画ではそれを見越し、基本方針の1番目に「市民にとって利用しやすい運行サービスの効率化」を挙げてあり、市民の外出行動に合わせたバス運行サービスの見直しを図るとあります。ぜひ、水俣市民の要望に沿った運行サービスが実現されるよう要望します。</p> <p>本計画素案20ページの「乗り場・ルートに関する市民要望」にも、水光社本店近くへのバス停の移設が挙がっています。また、46ページのH26年度市民アンケートでも外出したい施設の上に挙がっています。現状のバス停も水光社本店からさほど遠くないところにはありますが、高齢者の利用が多いことを考えると十分とは言えません。現状ではバス停に屋根もなく、買物袋を持って夏の強烈な日差しが照りつける中、冬の寒空の下、また雨に濡れながらバスを待つ姿を見かけます。屋根のある場所、店舗に隣接しそのまま施設の中に入れる場所にバス停があれば、利用者の利便性は格段に向上すると考えられます。</p> <p>本店の建替えも計画中ですが、上記のような水俣市民の要望に応え、店舗に隣接したバス停の検討をされる場合は、水光社側でも待合施設の整備やサービスの提供などで連携できると考えます。</p>	<p>現在、水光社本店周辺では木臼野線の「水光社前」停留所と、大川・中屋敷線、湯の児線、茂道・湯の鶴線の「古賀町」停留所が最寄りの停留所として利用されています。</p> <p>距離としましては、どちらの停留所も水光社本店から100m以内にはありますが、より近いところに停留所が欲しいという要望もいただいております。</p> <p>現状の運行路線、道路形状では施設周辺に交差点も多く、道路の安全上設置が難しい状況にありますので、今後の路線検討の中で水光社との連携も検討させていただきます。</p>

2	<p>【ページ】 18ページ</p> <p>【項目名】 地域公共交通の運行路線図</p>	<p>新しい施設や、閉鎖になった施設など地域の利用状況を踏まえ、運行ルート・停留所の見直しをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルートについて 現状は、エムズシティから水光社へ巡回しているが、福祉施設等の新設や子どもたちの利用の観点から、塩浜方面へ運行し、水俣第二中学校・武道館へのルートの検討をお願いします。 ・停留所について 施設等と協議し、施設の出入口付近の設置ができないか検討をお願いします。 	<p>今後、市民の外出行動に合わせたバス運行サービスの見直しを図ることとしており、ニーズに合った公共交通網となるよう、路線についても検討を進めてまいります。</p> <p>その際には、現在バスが運行していない地域への乗入れも含めて路線を検討しますので、今回いただいたご意見も参考とさせていただきます。</p>
---	--	--	--